

# 2017年『ベスト経済書』ランキング ベスト10

| 順位 | 書籍名                        | 著者名/訳者名                             | 出版社名●本体価格      | 得点 |
|----|----------------------------|-------------------------------------|----------------|----|
| 1  | 「原因と結果」の経済学 データから真実を見抜く思考法 | 中室牧子、津川友介 著                         | ダイヤモンド社●1,600円 | 84 |
| 2  | データ分析の力 因果関係に迫る思考法         | 伊藤公一朗 著                             | 光文社●780円       | 66 |
| 3  | 金利と経済 高まるリスクと残された処方箋       | 斎 邦雄 著                              | ダイヤモンド社●1,800円 | 57 |
| 4  | 負債論 貨幣と暴力の5000年            | デヴィッド・クレーバー 著/酒井隆史 監訳/高祖岩三郎、佐々木夏子 訳 | 以文社●6,000円     | 56 |
| 5  | イノベーターたちの日本史 近代日本の創造的対応    | 米倉誠一郎 著                             | 東洋経済新報社●2,000円 | 45 |
| 6  | 偽りの経済政策 格差と停滞のアベノミクス       | 服部茂幸 著                              | 岩波書店●820円      | 42 |
| 6  | ゼロからの経営戦略                  | 沼上 幹 著                              | ミネルヴァ書房●2,000円 | 42 |
| 8  | 未来の年表 人口減少日本でこれから起きること     | 河合雅司 著                              | 講談社●760円       | 39 |
| 9  | かくて行動経済学は生まれり              | マイケル・ルイス 著/渡会圭子 訳                   | 文藝春秋●1,800円    | 36 |
| 9  | ポストキャピタリズム 資本主義以後の世界       | ポール・メイソン 著/佐々とも 訳                   | 東洋経済新報社●2,200円 | 36 |

## アンケート調査の方法

- 全国主要大学の経済学者・経営学者、および民間のエコノミストにアンケートを送付し、111人から回答を得た。
- 2016年11月～17年10月の1年間に出版された経済書、経営書、および関連書籍の中からベスト3を選定してもらい、1位10点、2位6点、3位3点を付与し、総合得点を集計した。

●負債・貨幣について近年の議論の集大成ともいえる労作。貨幣が物々交換から発生したのではないということ、奴隷制や宗教にまで話が広がる。多くの歴史的エピソードを味わいながら、人類と負債について考える機会を与えてくれる(郡司大志・大東文化大学教授)

●現代のマネー経済の根幹が「負債」にあることを最も本質的に解明したものであり、まさしく、現代の資本論と呼べるものは本書をおいて他にない(馬頭忠治・鹿児島国際大学教授)

●貨幣の起源は、貸借関係の記録であり、バビロニアのくさび文字にまでさかのぼる。物々交換が不便なので、金や銀などの商品貨幣として使い始めたというのは、経済学者の作り話である(渡部亮・法政大学教授)

